

第2学年 道徳学習指導案

1 日時 平成26年10月22日(水) 第5校時

2 主題 人間のすばらしさ 3- (3)

人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びを見いだすように努める。

3 資料

(1) 副読本 「自分を考える」 あかつき 「ネパールのビール」 p72~p77

(2) 「私たちの道徳 中学校」 文部科学省 (3) 人間の強さや気高さを信じ生きる p120~121

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分だけが弱いのではないこと、人間がもつ強さや気高さを理解させ、自分を奮い立たせることで目指す生き方、誇りある生き方に近付けることに目を向けさせたい。

(2) 生徒について

生きることへの喜びや人間の行為の美しさに気付いたとき、人間は心の弱さや醜さを乗り越え、次に向かっていこうとする強さや気高さが生まれてくる。

中学生の時期は、よりよい人生を送りたいという人間の気高さを追い求める心が育ってくるころである。しかし、生きることへの喜びや人間の行為の美しさを実感できる経験が少なく、自己の中に育ちつつある強さや気高さに気付くことができないでいる。

そこで、誰の心の中にも弱さや醜さがあることに気付かせると同時に、それらを克服して、人間として誇りある生き方を見いだそうとする心情をはぐくみたい。

(3) 資料について

ネパールの小さな村に滞在した筆者が、ビールを買ってくると志願する少年に大金を渡す。

ところが少年は一向に戻ってこない。筆者は事故ではないかと心配する半面、「逃げたにちがいない」という村人の言葉に心が揺れる。

「逃げた」という周囲の言葉に惑わされ、少年を信じきれない筆者の弱さと、約束を果たそうと命がけで戻ってくる少年の二人を対比的に捉えながら、人間がもつ弱さ醜さと強さ気高さについて話し合い、それを自分とのかかわりでとらえさせて、自己の将来の生き方や課題について考えを深める。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

日常の学校生活から、よく考えて行動するとともに、常に自分の言動に対して反省し、よりよく生きるよう指導を継続している。

道徳の時間においては、『タッチアウト』『人間であることの美しさ』などの資料を用い、3- (3) を年間指導計画に位置付けて重点的に学習している。

その他、教科では、国語科『走れメロス』、部活動では日々の活動への取り組み、生徒総会でのいじめ防止への呼びかけなど、自分の心の弱さに気づき、それを乗り越えるように指導している。

本時では、これまでの生活体験を振り返り、心の弱さに悩んだり苦しんだりしたことやそれらを克服したことなどを思い出させ、これからの自分の生き方を考えさせたい。

5 本時の指導の流れ

【ねらい】 人間のもつ強さや気高さを信じ、人間として誇りある生き方を見いだそうとする心情をはぐくむ。			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応など	指導上の留意点
導入	<p>■教師の話を聴く。</p> <p>■ネパールの地理的な厳しさを確認する。</p>	<p>ネパールの様子を聞いてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごい山岳地帯の国だ。 ・危険な山道が多い。 ・想像できないような不自由な生活。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳地域ゆへの地理的な厳しさをおさえられるような資料を提示する。 ・簡単に説明したのち、印象をたずねる。
展開	<p>資料を読む</p> <p>■チェトリの帰りを拍手で迎えた筆者の心を捉える。</p> <p>■「チェトリは逃げたのだろう」と言われたときの筆者の気持ちを考える。</p> <p>■筆者の涙のわけを考える。</p>	<p>ビールを買ってきたチェトリを拍手で迎えたとき、筆者はどう思っただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかげでうまいビールが飲める。 ・遠い道のりを買いに行ってくれて嬉しい。 ・無事に帰って来てくれて安心した。 <p>筆者が歯ざしりするほど後悔したのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大金を渡して、少年の一生を狂わせた。 ・簡単に信じるべきではなかった。 ・たかがビールくらいのことで自分は取り返しをつかないことをしてしまった。 <p>◎「ちかごろあんなに泣いたことはない」という筆者はどんな思いで泣いたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェトリが無事に帰ってきたことに喜びや安堵の気持ちを感じた。 ・チェトリの正直で誠実な行動に感動した。 ・チェトリを信じ切れなかった心の弱さ、醜さを痛感した。 ・チェトリの心の美しさに触れ、すまない気持ちになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の安堵と感謝を捉えさせる。 ・日本との貨幣価値のちがいについて簡単に触れる。 ・ビールを飲みたいというだけで軽率な行動をとってしまった筆者の弱さ、そしてチェトリを信じ切れない心の醜さを感じ取らせる。 ・無事に帰ったことだけでなく、筆者のチェトリを疑ったことへの自省の念とチェトリの心の美しさへの感動を捉えさせる。 ・チェトリの誇りある生き方に気付かせる。
終末	<p>「私たちの道徳」P120～121を読み、自分とのかかわりで考える。</p>	<p>筆者がチェトリから学んだことを通して、将来の自分の生き方についての考えを書いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間がもつ強さ、気高さを信じ、人間として生きる喜びを感じられる生き方を考えさせたい。

- 7 評価
- ・人間の心には弱さがあるが、それに打ち勝つ気高さもあることを理解できたか。
 - ・筆者の心の動きに共感し、将来の生き方や課題について考えることができたか。